



沼津建設業協会
広 報 誌

編集・発行
沼津建設業協会

広報青年委員会
沼津市御幸町17-12
電話(055)932-8311
<http://numazukenkyo.jp/>
発行 四半期1日



第25回写真コンクール 最優秀賞「陽光をあびて」 田代 宏昭氏

昨年十二月末に自民党安部政権が発足し、はや2ヶ月が経過した。自ら今回の内閣を「危機突破内閣」と命名し、デフレ脱

却に向け、物価上昇率2%という具体的目標値を示した事には驚くとともに強い経済を取り戻そうとする首相の気概を感じた。

呼応するかのように政府の動きも今までにない歯切れ良さがある。期待感と共に円安株高傾向が続き、輸

出関連企業は持ち直してきている所以であろう。
我々建設業界にも、即効性のある景気対策として、4兆7千億円の公共事業費の補正予算が組まれ成立した。

最近の資材高騰、技術者不足の影響や予算成立の遅れにより、円滑に事業を執行できない不安はあるとしても業界にとつて久しぶりの明るい話題である。
震災復興はもちろんのこと地震、津波への危機管理、

老朽化したインフラ整備に向けて有効にかつ迅速に振り分けていただきたい。

当該予算が、我々業界の動脈のみでなく末端の毛細血管まで幅広くいきわたり、再び元氣を取り戻す一助となることを願う。

ただこの反対に気になることがある。

来年度の当初予算案に盛り込んでいる公共事業費が実質増えていないにもかかわらず増えている印象を与えている

ことだ。
一部メディアの報道では、大幅増(15%)などと伝えている。

実際には、民主党政権時に地方交付金を一括交付金として計上し、その中に計上されていた公共事業関係費が表に出ただけであり、実質昨年度と比較してみるとわずかに増えているだけという状況である。

公共事業費増が一人歩きし再び世論が過剰に反応する危険が潜んでいる。
補正というカンフル効果を



持続させるとともに、日本の基幹産業としての建設業をこれ以上疲弊させない為にも、公共投資をこれ以上減らさないで頂きたい。

東日本大震災で、インフラ整備にもっと力をいれていたら一体何人の命が救われたのか？

災害を守り、立ち向かっていくのは我々建設業だという自信と自負も、循環する血液がなければ虚しいままだ。

安部政権に期待する。

未来に向けて

日本企業の海外進出について

建設会社の海外進出という

と、発展途上国におけるインフラ整備が思い浮かびます。発電設備や給水設備などのライフラインの整備が多いと考えますが、ライフライン整備といっても裾野は広く生活していくために人々が必要なものすべてに関連してきます。

中国では、景気経済の上昇に伴い、企業が増えたことで環境汚染が深刻な問題となっています。北京における大気汚染が、日本の微小粒子物質「PM2.5」を運んでくるという話は、最近話題になっていますが、水質汚染もそれと並ぶ問題であり河川の水質改善が急務といわれています。

工業地帯では、放流水による富栄養化や重金属の汚染が進んでおり、河川が変色するなど、生き物が住める状態ではありません。日本でも対岸の火事ではなく、中国から輸入される水産加工品など大きく関連している可能性があります。そして、飲み水は特に深刻な問題です。工業地帯周辺の地下水は、半数の割合で有害物質が確認されていますが、実際の数値は、もっと高

いものと考えられます。

日本における水処理技術は、世界一といっても過言ではありません。水質汚染を改善する意味でも、日本の技術が必要であります。ある水処理メーカーの社長が、このような事態に現地法人を立ち上げることになりました。ただ、中国で仕事を始めるといっても簡単にはできないので、時間をかけて計画をしてきたそうです。

20年以上前から、日本の大手メーカーを筆頭に中小製造会社は、中国に生産拠点をシフトしてきました。第1に当時は労働者を安く雇用できたこと、第2に市場における競争相手が少なかったこと、第3に労働者の権利意識が薄かったことが、中国進出を推し進めた要因であります。

現在は、メーカーや流通業者が、撤退や縮小の動きを見せています。なぜならば、中国の平均賃金が、ここ数年間で2桁の伸びを続けており、5年間で2倍の水準にまで上昇したからです。また、昨年からは中国政府は、最低賃金を10%、20%以上引き上げてい

ます。

市場における競争の激化とは、価格競争が激しくなるということです。企業の利益を上げることも難しくなります。中国の企業は、とにかく大量生産に重きをおいていますので、品質を重視する企業体質は価格の障壁になります。日本の製品が、時にはオーバークオリティーと評価をされてしまします。企業が増えれば増えるほど、利益の確保が難しくなります。

労働者が働く場所で、権利の主張をするようになりました。中国では、企業買収はよくおこなわれます。中国に進出した企業が人と設備をそのまま引き受けるという構図ですが、中国では経営者が変わった瞬間に賃金アップと労働環境の改善を要求してきます。また、日本という愛社精神的なものはありませんので、春節（日本の正月）で実家に帰って戻ってこないという話はよくある話です。実際には、実家の近くに工場ができたので、そこに就職したという理由が多いそうです。

車の部品を作る工場を立ち

上げたが、うまくいかなかった話を聞きました。しかし、現在ではメッキ工場の経営に取り組んでいるそうです。その会社は、製造工程で行っていたメッキ作業における排水処理技術が非常に優れていたもので、環境保全技術という部分で中国に受け入れられたのです。地球環境に対する日本の技術力はやはり定評があるようです。

今年70歳の水処理メーカーの社長は、「地球がこれだけ危機に冒されていても、人間は経済成長を止めようとしません。それは、人間が生活レベルを上げたら下げることはいきないからだね。日本の企業がいままで生き残っているのは、このような人たちが多く存在するからだ。諸外国の人口が増えていくならば、もう少し海外で頑張ってみようかね」と、私よりはるかに年配の社長が、海外のどこでもやっていけるのは、技術力に裏付けられた信頼と自信があるからだと感じました。

特別寄稿

「水の惑星」

生命の営みのある地球環境を考える (89)

環境カウンセラー

保坂貞治

豪雨災害を通して地球環境を考える

洪水による決壊箇所とその原因

その7

1 洪水による災害
(1) 洪水と決壊 小山町を襲った台風9号による豪雨災害の決壊要因をまとめると次の諸点が挙げられます。

a. 洪水による決壊等の災害は、河川勾配に関係し、勾配の大きい小山町で大災害を被った。

b. 洪水は単なる濁流でなく、洪水の本体は、土砂・岩石混じりの高密度流の土石流で川底は数トンの巨岩がゴツンゴツンと音を立てぶつかり合い流れていました。

c. 洪水は直進し、障害物があると玉突き状に跳ね返りながら河川の内側を流れます。

d. 橋を支える橋脚は、洪水は流れを妨げられ八の字に広がり兩岸の護岸に激しく衝突を繰り返して崩壊を起こします。

e. 堰堤は洪水時に土砂の流出及び水の流れを緩和する目的で造られるが、堰堤下の両側では激しく落下する洪水で護岸の底が抉られ1m以下の底固めでも崩壊が見られました。

f. 護岸の裏側は埋め土で護岸の基礎が洗われる水がしみ込み液状化し、あつと言う間に崩壊します。

(2) 洪水と決壊 洪水による決壊箇所は図の場所です。

a. 洪水の本体は前述の(1)bで、逆巻く濁流中では砂礫や大小様々な岩石が踊り、直径20〜30cmの岩石が水面上に跳

ねあがり舞っていました。底部は高密度の土石流状となつて1〜数噸の巨岩がゴツンゴツンと音を立てぶつかり合い流れていました。これら岩塊は老朽ビルの破壊用鉄塊の如く激しく護岸に衝突し、特に河川の曲流点では繰り返して衝突する岩塊の衝突に耐えきれず、遂には護岸は崩壊しました。堰堤を激しく落下する洪水は土石流状に落下する岩塊により河床が滝壺を抉るように浸食し護岸の基礎が現れ崩壊を起こしました。すると水が浸入し護岸の裏側が液状化し崩壊が起こりました。

私宅一階車庫内に洪水の表層流が流れ込み被災しました。水が引いた後には車庫内に多量の土砂が残っていました。堆積土砂量48.59m³で、流入濁流量が浸水跡より112.47m³、実に洪水の表層流で43.2%が土砂でした。

このことより洪水の実態は土石流で、下層は巨岩混じりの土石流であることが想像されました。

b. 下野沢橋直上で災害時の流速を測定すると、表層流の平均流速が3.15m/秒という急速で流れていました。

水の図の河川の曲流部では直進した水が護岸等の障害物があると激しく衝突し跳ね返えされて玉突き状に流れていま

す。洪水が小山のような急流で激しく衝突する曲流箇所や玉突き状に跳ね返った個所で崩壊が目立ち、このような個所では今回の豪雨で崩壊が起きなくても補修の跡があり、過去の崩壊を物語っています。

これは洪水時に流木の衝突もさることながら洪水時は大小様々な岩石の衝突が護岸を打ち砕き、壊され裏側の埋め土が流出して崩壊が起こすのが河川の急流地での主因と考えられます。特に河川の流れが急な曲流点の落合区細谷さん宅上、茅沼区田中さん宅裏は前回の昭和47年7月の集中豪雨と続けて崩壊しています。

c. 図の長い橋で橋を支える為の橋脚があると、川幅の狭い河川では橋脚が障害となり掛かり流れを塞ぎ溢れ災害を及ぼします。今回の台風は植林地の放置された間伐材が多

量に流れ出しました。特に生木や生竹が橋脚に掛かると折れ難く流れを遮り、それに後から連鎖的に流れくる浮遊物が折り重なり下野沢橋では、塞がれた濁流が兩岸の音淵、落合地区の街中にとつと溢れ住宅街に流入し大災害をもたらしました。そして下野沢橋は、水圧に耐えられず遂に崩壊、流出しました。

量に流れ出しました。特に生木や生竹が橋脚に掛かると折れ難く流れを遮り、それに後から連鎖的に流れくる浮遊物が折り重なり下野沢橋では、塞がれた濁流が兩岸の音淵、落合地区の街中にとつと溢れ住宅街に流入し大災害をもたらしました。そして下野沢橋は、水圧に耐えられず遂に崩壊、流出しました。

量に流れ出しました。特に生木や生竹が橋脚に掛かると折れ難く流れを遮り、それに後から連鎖的に流れくる浮遊物が折り重なり下野沢橋では、塞がれた濁流が兩岸の音淵、落合地区の街中にとつと溢れ住宅街に流入し大災害をもたらしました。そして下野沢橋は、水圧に耐えられず遂に崩壊、流出しました。

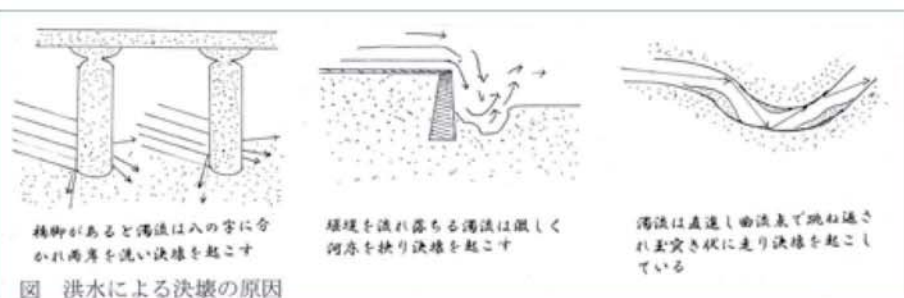


図 洪水による決壊の原因

遙か長い旅(その十七)

土木技師列伝 ⑬

元沼津土木事務所長 富野 章

《加藤清正・その一》

加藤清正は、秀吉と母方の親戚で尾張の中村に生まれ、家も隣同士。賤ヶ岳・七本槍の武勲で、天正十七年(1589)、二六歳で肥後の藩主となった。時は雨季。菊池川、白川、緑川などが城下の至る所で氾濫し、前任・佐々成政の失政による農民一揆さえ頻発していた。築城の名人清正は、治水の天才でもある。民心安定の為、入国後二百日で早くも河川改修工事に着手。どうしようもない泥濘地を美しい城下町に変えた。

《上善は水の如し》

黒田官兵衛の『水五訓』に、「上善は水の如し」とある。清正の治水戦略は、水を知り、川に教わり、智略で洪水を宥め、決して川を怒らせなかった。まず茶臼山に登って地の利を見極め、古老より古今の水害を具に聞き質し、洪水時には小舟を激流に漕ぎ出し、何と、自ら水中に身を投じて、水衝り、渦流、河底の変動を飽きることなく検分し、決して倦怠することがなかった。清正は、自然の理に人の叡

て設計積算し、図面も引いた。しかも家老職を置かず、全て自分が決断し、統括した。

また、遠く阿蘇谷の源流部より狼煙を合図に瓢箪を流して黒川と白川の洪水到達時間を計測。結果、白川は直線的改修により流速を速く、黒川は蛇行と「鹿漬堰」で流れを遅くしてピーク流量の重複を避ける、超高等戦術で水理を極め、洪水被害を激減させた。

更に、世界に先駆けての計画的遊水地や、我が国最初の大規模河川転流工事により、白川、坪井川、井芹川の三川を統合、分離の上、新川を開削し、10kmに及ぶ「清正堤」、8kmの「大名堤」を築き、坪井川の南遷により外濠の防衛機能をも加えた。同時に、下津棒庵らに城下町を形成させ、一町毎に一寺を配した。想定外の大洪水や敵の侵入には墓石を捨て込み、城下を水浸させる計画だ。(西南の役では、薩摩軍がこれを逆用して水攻め、熊本城を孤立させた。)

又、慶長十二年(1607)には、蛇行する白川を直線化して坪井川に繋ぎ、築城地への洪水圧力を減殺すると共に、武家屋敷地を拡げ、井芹川との合流により水量を増加させ

て、湊より直接城下まで物資運搬する水運も強化した。

通例「川普請」は、農民への強制労働とするが、清正は賃金夫役とし、男女区別なく一日・米五合と給銀を与え、老人、童子の雇いを禁止し、朝七時から午後五時までの労働時間や、二回の休憩と昼食に至るまでも気配りした。

また、現場至上主義に徹し、七里(8km)も遠隔の菊池川では、連日、日の出前から馬を飛ばし、日没後に帰城する現場督励を一カ月余も休まず続け、とうとう走卒は誰一人ついて行けないほどだった。

《良き治水者とは……》

『良き治水者は、良き為政者である』。清正の目は常に領民・農民と共にあった。すべての治水工事が、灌漑、取水、軍事、舟運、農作物増産との総合施策である。緑川改修では、わざと曲流する河道と部分的に低い堤防を計画した。訝しく思う部下に、「洪水は直線的に早く流すことだけを考えるな。屈曲させれば、多くの田畑にも水が引け、水勢も弱まり舟運も可能となり、高潮の遡上も遅れて稲への塩害も減る。どんな堤防を造っても自然の力には敵わない。

川筋(河幅)を狭めず、堤防は川より遠避けて水行を妨げず、川下に迷惑とならぬよう川守と相談し、万が一の大洪水も逃げ道を考えてやれば全体の被害は少ないものだ」と戒めた。決して技に奢らず、流域の治水バランスと作物被害を総合的に秤に架けたのだ。

白川には十三kmの馬場桶・灌漑用水路を開削し、白川の「瀬田堰」緑川の「鵜の瀬堰水門」、球磨川の「遥拝堰」など、治水上の床止めを兼ねた二九箇所もの巧妙な取水堰も、清正自らが位置と構造を決定し、森勘左衛門、杉村茂吉に普請させた。これらの先端的な「灌漑システム」により、開拓された不毛の台地は、実に、三千五百町歩にも及ぶ。



朝鮮での虎退治で知られる槍の名人・清正は、武功のみならず秀吉の主計頭を務めたほどの経理家でもある。慶長八年(1603)には、菊池川などへの舟運も拡大、川尻には手毬歌で全国に知られる「船場」(交易船の船付き場)を造り、「御蔵」(米蔵)、「御船手」(水軍)と連携する国際貿易港が完成する。翌、慶長九年には一六の部屋を持ち、風呂まで備えた巨大貿易船を造った。この先見性が、タイシヤム、ベトナム(安南)、フィリピン、スペイン等の南蛮貿易により藩財政を潤し、膨大な治水工事を、年貢の過負担なく捻出し得たのである。

《『替え石』と『隠し堤塘』》

清正流土木普請の特徴は、自然の摂理に従った堅牢さ、雄大さ、そして究極の遠略深謀である。日常の危機管理はもとより、百年以上も先の監理にも予め「川守り」と「資材」を配し万全の備えを成した。

堰や堤は管理者を定め、長刀、茶壺を贈り、名字を与えた。例えば、塘永姓は「堤防を永く守る」という意味で、未来永劫その生活も保障した。また、緑川・立岡溜池等では、巨石を分流水位の目印とし、

「この岩が隠れぬよう管理せよ」との碑を残した。百年後土浚いを怠った為、ヨナで岩が埋没し、清正の言うとおり井堰の分配機能は失われた。寛政八年(1796)大洪水で九州一の大井堰・白川瀬田が崩れ、井樋の巨石が流失。村人が途方に暮れた時、古老が「清正公が井堰を造った時、確か、予備の石を埋めて置かれた」という伝承を教えた。郡代・佐久間平太夫が半信半疑で掘ると、果して、井堰石全部の「替え石」が埋めてあったという。(風雪秘記)

更なる恐るべき大謀は、重要箇所には「頑丈な二段構え堤塘(隠し堤塘)」である。秘密の積石は、長手控を用い、繋ぎ合せは一文銭で軋めて精巧に造作し、しかも堤体内部に匿した。後年の寛政大洪水で白川の堤防が決壊し、人々がもはやこれまでと城下への大氾濫を覚悟したとき、何と、堤体の中から、二番目の石積みが見われて氾濫を防いだのである。人々は、清正の深謀遠慮と工夫の卓抜さに舌を巻いた。死後二百年を経て、もはや人々が清正の偉勲を忘れかけた頃、その真価が発揮されたのである。

《清正の『技のデパート』》

【『替り石(くつども)』】 震堤による治水装置。「くつども」は、馬を制御する為、口に噛ませる鉄の棒のこと。暴れ馬を洪水に見立て、洪水を堤防の切れ口から広い遊水地に引き入れて、氾濫を宥め、洪水後に川に戻す。遊水地は平常時、農地として利用された。

規模は、流域資産と地形特性に適合する。緑川上田口の「替り石」は、尻なし堤の延長八百尺、遊水地の幅は二〇〇尺もあり、桑鶴の「替り石」は、堤防延長約九〇尺、遊水面積は実に、八〇万坪にも及ぶ。

【『石割(水制工)』】 堤防の片岸又は両側から石組を突きだし、洪水の衝撃を弱め、流向を整え、減勢する石積護岸水制。取水、舟運、洗堰にも利用した。高さ三間、長さは四間、二〇間、基礎は粗朶、松板を敷いた。菊池川の湾曲部水衛部には、六七箇所の石割があった。その形状より「烏帽子」とも「鬼石」とも呼ぶ。二百年後、寛政八年(1796)の大洪水では、白川上野原の突堤石割が見事に洪水を刎ねつけ、熊本城下を守った。

【『石塘(水制工)』】 石を張り漆喰で固めた堤防。洪水落としの場所や、旧河川締め切り部は、想定以上に破壊しないよう、堤防の全面と河床を大石張りで頑丈にした。また、坪井川、白川では「石塘堤」として、洪水分流の「背割堤」と「間門」を兼ね、下部に暗渠を空けて水量調節も行った。

【『鼻ぐり井手』】 阿蘇から流出する熊本独特の火山灰土「ヨナ」を溜め、川底が上がるのを防ぐ堰。鼻ぐりとは、牛の鼻に通す環輪のことで、堰堤の底に設けられた排水口で、自然に土砂を攪拌して排出する装置。白川には「馬場橋井手」等八〇箇所に上作られた。宅麻郡では、九五町歩の水田で生産高が三倍になった。

【『猪口の口』】 岩をくり抜いて、徳利の形に隘道を掘る。入口(ちよこの口)が狭いため、洪水時には入りきらない水がぐるぐる掻き混ぜられて、土砂が吐ける。(近年、入口を拡げた処、機能が失われた。)

【『尻なし堤』】 堤防を連続させず、下流側を開口させて洪水を引き入れ、本川の水位が下ると排水する。替り石の枝堤としても造られた。武田信玄の「霞堤」も同じ仕様。

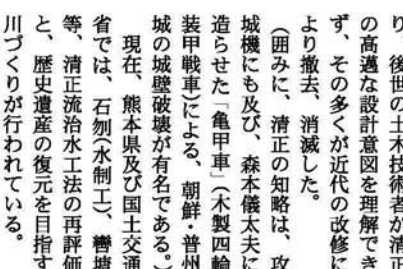
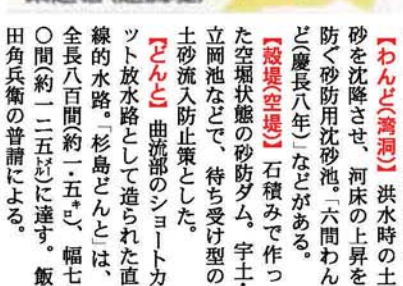
【『三重石垣(隠し堤塘)』】 通常の土堤防の中心部に、もうひとつ二段構えの石垣を築いて置く。洪水で前面が洗堀、破堤しても積石が深みを埋めて寄せ石水制となり、併せて背後の強固な石垣により、それ以上は堤が崩れずに耐え抜く技。

【『堤防植樹』】 立岡堤などの堤防を桜並木とし、桜見物、水神祭りなどに殊よせて堤防を踏み固めさせた。また、竹藪、柳、松、榎を植え、洪水時には、水防工法の「木流し」に使って、堤防を激流から守る。

【『わん(湾)洞』】 洪水時の土砂を沈降させ、河床の上昇を防ぐ砂防用沈砂池。六間わんど(慶長八年)などがある。

【『殺堤(空堤)』】 石積みで作った空堀状態の砂防ダム。宇土立岡池などで、待ち受け型の土砂流入防止策とした。

【『どんと』】 曲流部のショートカット放水路として造られた直線の水路。「杉島どんと」は、全長八百間(約一・五km)、幅七〇間(約一二・五m)に達す。飯田角兵衛の普請による。



旅のつれづれ

第二十四回

山上の古城・備中松山城

文 井下秀文

古城の魅力とはなんだろう。例えば、石垣や構築物が古びている、苔むしている。深閑と静かな雰囲気である。昔ながらの天守閣がある。ロマンがある、など。

それらの要件を満たす城は、ほぼ有名観光地となってしまう、魅力の条件を満たさなくなってしまうのが普通だ。しかし、岡山県高梁市の備中松山城は、そうした条件の多くを満たす、貴重な城郭であるうと思える。

備中松山城は、日本一高所の山城であることが第一の特長だ。標高四二〇mの山の上にある。よって、不便なので、静かである。古い木造の天守閣も現存する。

高梁の街は川と山に挟まれた狭い盆地にあり、武家屋敷も残る古いよい佇まいである。街の北端に、石垣に囲まれた



▲高梁の街を見下ろす



▲岩盤と組合わされた迫力の石垣



▲山上の天守閣



▲天守閣裏の二重櫓



▲古城の雰囲気は抜群。

古風な高梁高校があるが、これが江戸時代に御根小屋とよばれる御殿だった跡地で、城の出先であった。山の上の城ではあまりにも不便なので、出張所で備中松山藩の本業をこなしていたようである。そこから早足で登って、城まで一時間はかかる。

クルマだと8合目までいける。しかし駐車場からさらに二十分の山道を歩かないといけない。

砂が浮いてすべりやすい地面に気をつけながら歩く。周囲は老木や大木が多い。古い道であることがわかる。高度をかせぐにつれ、眼下の景色は高梁川と町がきれいに広がり、とても爽快になる。しかしこんなに人里離れて城を作らなくても、とも思ってしまう。難攻不落を是としていたのだろうか。

そしてたどり着いた城下の石垣は、山中のマチュピチュを思わせるような、立体感に富んだ多層的な構成で、迫力がある。

天守閣は一六八三年に修築されたものといわれ、二層二階建て、城というには小規模である。しかし隔絶された山の上ではやはり間違いなく風格がある。

天守閣には入ることができない。入城料は三百円。内部は城と呼ぶには質素な空間。一階は囲炉裏と装束の間、二階は祭壇の間であった。当時の暮らしはどのようなものであったのだろうか？華やいだ展示物や遺構はなく、この城の修復の歴史などが紹介されていた。

明治時代初期に廃城になったが、その立地の不便さにより取り壊されることなく、そのまま放置され朽ちていった。昭和時代初期に、地元の高校の先生が主体になり、松山城の整備事業を呼びかけ、荒廃していた建築物の解体復元、修復がなされ、天守閣、二重櫓、土塀は昭和二十五年に国の重要文化財指定を受けている。

なにしろ山の上の城であるから、近代的整備が困難だ。地盤が沈んだり、野生動物に荒らされたり、維持修繕は大変なようだ。さらに城周囲の樹木の生長によって根が岩盤を変形させており、地滑りの危険性がある。岩盤に石垣が積んであり、崩れるおそれがあるとのことだ。

かように備中松山城は、華やかさから遠いが、哀しいロマンを感じられる、稀有な史跡と思われるのである。

「からだづくりの教室」便り (45)

宮本摩知



慣れに注意



「生活習慣病」という病名とも……何とも……不思議な状態があります。

身体には良くないとわかっていても、ついつい続けてしまつて……もしかしたらその先に何かの症状が現れ、病気の診断が下されてしまう。しかし、ずっと続けてしまうことなので十分に身体に染み付い

た習慣は結局脱却できない。

病気になつても、まあこれくらいの症状なら仕方ないと思つたり、変な納得のふりをして、またその習慣と付き合つてしまふ。

良いとも悪いとも思わず、生活上のついつい//続けていくことはたくさんあります。

・美味しいからという理由で毎日たくさんお腹一杯食べてしまふ。

・一日に必要な栄養品目と信じて毎日肉、魚を食べる。

・一年中メニューに夏野菜のサラダがある。

・十分に甘味のある美味しい野菜でも調理に定量の砂糖を使う。

・どんな漬物にも醤油をかける。

・ビールはぎんぎんに冷えたのが美味しいと言つて真冬でも冷たいビールを飲む。

・冬なのにエアコン設定温度が27度、夏なのにエアコンの設定温度が18度、という夏冬逆転の感覚

・毎日シャンプーをする

・毎日ナイロンタオルで泡をたくさんつけて身体をゴシゴシこする

挙げればきりが無いのです

が、これらが病気の原因……かどうか?……病気になる場合もあります。なる場合もあります。どれも身体に悪いと思つてやっているのではないので、年令や体質、生活スタイル、ストレスなど複合的な要素も加えていくと、時に悪い方に傾いていきそうです。

どれも慣れてしまふと何でもないことばかりです。しかし、慣れというものは気付かないうちに感覚の鈍りに陥ります。鈍りは知らず知らずのうちに進行しますので決して良いことはありません。要注意なのです。

更に最近子供にも「生活

習慣病」があると聞いています。

原因が何かは、およそ予想がつきそうですが、そうさせてしまった周囲、大人の責任は大きいと思います。それ以外にも鈍った感覚、ずれた感覚に慣れてしまふとその後の人生の様々な判断基準にまで影響が出ると言つても過言ではないでしょう。

慣れに気付き、見直し修正できるものは直ちにしてゆけたら良いと思います。とつさの判断が必要な時や大事なことの決断時、そして何より本物が身体に伝わる感覚というもののが失われないためにも「鈍りや慣れ」とは常におさらばしたいものです。





株和太組 荻原 繁

私の大切にしているもの？
私の大切なもの？

まず頭に浮かぶのが娘2人のことである。

しかし、中学生「最近学校どうよ」↓「普通」……。

小学生「パパ仕事でこんなことがあったんだ」↓「ふーん」……でなことで写真のランニングシューズの話題にします。

ダイエット／腰痛予防／体



力向上などのため一昨年より始めたランニング。

昨年の誕生日に妻からプレゼントは何がいいと問われ、考えた末このランニングシューズにしました。

それまでは普通のスニーカーで走っていましたがこの機会にと思い購入しました。

まず色Ⅱやる気出そう、履いてⅡ軽い！、走ってみてⅡ走りやすい！、スニーカーとこんなに違うものなのかとビックリ。

今ではこのシューズで1時間程、仕事のことや家族のことと釣りのことなどを考えながら走り、頭が空っぽになったところで帰宅↓風呂↓ビール(大盛り)↓睡眠に至福の喜びを感じながら明日への活力としています。

このランニングシューズを大切に使用し、当分付き合ってもらおうと思っています。

また、これからは年齢的にも健康も「大切にしているもの」のひとつとして気をつけていこうと思います。



毎年の嫌なこの季節

皆さんこんにちは。

今回は自分の抱えるこの時期の悩みを書かせていただきます。

花粉症の皆様は、毎年この花粉の時期をどう過ごされていますか？

私のスギ花粉との生活は今から25年も前の話になります。

その当時まで、そんな経験がなかったのですが、ある日突然風邪を引いたような症状に見舞われ、鼻水、くしゃみや目のかゆみが止まらなくなり、やべー変な病気もらっちゃったかな？……と悩み病院にいくのさへ怖かったことを今だから話します。

仕事どころではなくなってしまい、仕方なく恐々病院にいったことを思い出します。

病院では血液検査でスギ花粉のアレルギーという結果がでました。(内心すごくホッとししました)そこで初めてス

ギ花粉症だと知りました。

すぐにその症状に見合った点滴をやってもらうと、嘘のように症状が消え、普段の生活に戻れたのを今でもはっきり覚えています。

その時はこれから続く、つらい苦しい症状だとは考えもしなかったのを覚えています。それから25年間、毎年毎年この時期に苦しい思いをしてきました。

しかし一昨年のこの時期に、花粉の症状が出なくなったのです。

知り合いの何人もが今年は花粉の症状がでなくてよかった話を聞きました。

私だけではなく多くの人が花粉の苦しみから脱出できたのかと思いました。

昨年も症状はほとんど出ずに過ごすことが出来たので、体質が変わり花粉症ではなくなったと思っておりました。

そして今年……最悪な日々を今こうして過ごしています。

これを書きながらもうくしゃみ、目のかゆみそして、体のだるさ……

今、山の中で仕事をしながらこれを書いていますが、目の前に火事で煙をもうもうと発するように花粉が飛んでい

ます。

風が吹くたび煙のように花粉が飛んでいる光景を見ながら書いています。

今年は例年の数倍といっていました……いつまで続くのか……

花粉症の方々はこの時期を速く過ぎてもらいたいと心から祈ってるのでしょうか。

私が最初に病院で治療していただいた点滴に、その後今まで出会えていません。

毎年色々な病院に行きました……症状が良くなった病院には出会えていません。

発達している医療技術で、花粉症という病気をこの日本から早く消してもらいたい、それが花粉症患者全員の願いだと私は確信しています。

この症状を消す薬を発明開発した人には、日本国より国民栄誉賞を受ける資格があると私は思います。

とにかくつらく苦しいこの症状から早く抜け出したい今日この頃です。

本日は私個人が抱える悩みと希望を書かせていただきました。

乱雑でつまらない文章をお許し下さい。失礼いたしました。

た。

●現場代理人の声

(株)オサコー建設

芹澤 真

私が(株)オサコー建設に入社して、建設業の仕事に携わるようになってから五年の月日が経ちます。「現場代理人の声」を書かせていただく事になりました。

私の場合は直接現場での作業ではなく、お客様への引き渡し後の業務をメインとしています。その中で、リフォーム・不動産管理などを日々の業務としています。

お客様と打合せをして、お客様の理想をかたちにしてい



く事は、とても大変な作業の一つです。その中で「理想」「予算」の問題が出てきます。打合せの中で、お客様の理想を第一に考えて打合せをしていきます。しかし、全ての要望を取り入れると、予算の問題も出てきます。お客様の理想を、予算内でかたちにしていく事が、最も重要な事だと思います。

その事は、当たり前のことですが、建設業だけでなく全ての業種に共通している事だと思います。これから先、日々の中での人間の繋がりを大事にして、業務をしていきたいと思っています。

私の余暇 At one's leisure

(株)藤幸建設
田中潤一郎

私の休日の朝は、野球のユニホームに着替えることから始まります。

中学生の頃から続けている野球をする為です。第1試合目ともなると、出勤するよりも早く家を出て、グラウンドを作ります。

私は、チームのキャプテンを任されていますが、去年は私がキャプテンになって初めて、沼津地区Cクラスで優勝しました。その他の大会も、準優勝2回、3位1回と、ここ最近では、とても輝かしい成績を残しました。

チームは、「楽しい野球」

を念頭に置いてやっています。負けても野球は楽しいですが、勝つと数倍楽しいのでチームメイトも、勝利に向かって一生懸命練習しています。

今年の目標は、ただ「優勝」

ではなくて、今いるチームメイトが一人も欠けることなく野球をして、食事をして、酒を飲んで、また怪我が無く一年が終わって、その先に優勝があれば「楽しい野球」になるのではないかと思います。

今年から、小学2年生になる私の息子が少年野球を始めました。今ではしっかりとキャッチボールが出来るまでに成長し、親バカな私は、私が楽しく野球をやっているからだと、勝手に思い込んでいます。

親としても、自分の息子が

同じスポーツを選んでくれた

ことを嬉しく思うし、野球人としても野球を選んでくれたことに嬉しく思います。

この先も、私と息子が野球でつながっていけたら幸せです。

こんな私を、サポートしてくれる周りの方々や、家族がいてとても楽しい休日です。



ペット紹介



渡辺建設(株)
原 誠 治

我が家の一員となって早十年、うちの愛犬「はな」を紹介します。私の家では今まで気がついたら飼っていたうさぎや、姉が大学の実験室から貰ってきたスナネズミなど飼っていた事はあったのですが、犬は初めてでした。その「はな」との出会い、知り合いが「もうすぐ子犬が生まれるからいる?」と言われて待ち続け三年、ちょうど父が定年を迎える時期に当たって譲り受け、父への定年のプレゼントという形で飼い始めました。そのような理由で父に渡した為か、えさやりから散歩など病院以外の世話は率先してやってくれていました。

「はな」は、ミニチュアダックスの特徴を全て中途半端にした感じで、しゅっとしているはずの顔は通常の2/3程、長く垂れ下がった耳も通常より短く、短足なはずの脚は若干長めで、唯一ダックスだと言える部分は長く伸びた胴だけです。性格はかなりの人&犬見知りで、何回も散歩で顔を合わせている犬にもけたたましく吠え、その犬が興味を持って近づいてくると私の後ろに隠れる様な犬社会に馴染めない社会性のない犬です。しかし、家の中では大変おとなしくちゃんと言う事を聞き、家族の行動が解るのか、出掛ける時は何も言わなくても自分から檻の中に入りおとなしくしています。



そして父が怪我をした時に、いち早くいつもと違う鳴き声で異変を知らせ、病気で倒れた時も別の部屋で寝ていた父を家族の誰よりも早く異変に気が付き教えてくれたりしました。

そんな「はな」も十歳を過ぎ人間の歳にすると六十歳近くになる所為か最近、一日中こたつで横になり、私が帰宅しても顔を持ち上げるだけですぐ興味を無くし、着替えて居間に戻ってきたら激しくかまえてと言わんばかりに顔を舐め、自分が飽きたらすぐに離れていくような「はな」に毎日やられっぱなしです。

家族がみた 父親像

松井建設(株)
湯山剛浩家族より

我が家のパパは仕事とサッカーに毎日忙しいパパです。平日は仕事から帰ると、お風呂の時間や夕食を食べる前に子供とサッカーの練習をしたり、話しをしたりして過ごしています。土曜日は仕事が休みだと必ず試合の手伝いや応援に夫婦で出掛け、日曜も同じ様にサッカーの応援などで本当にゆつくりできない日々を過ごしています。しかし子供達もパパから教えてもらったプレーや技ができる様になり少しずつ上手になっていく姿をパパも嬉しいのか、疲れも忘れ、サッカー三昧の休日をも過ごしています。私はもつと自分の時間が欲しくて休みたいなと思ってしまふのですが、子供達とパパに負けてサッカーばかりの休日です。平日もお互いに仕事があるので、かばい合って練習に連れて行



ったりしています。又、我が家はデイズニールランドが大好きなので、時間がきたら家族で行きたいと思っているのですが、そこでもパパは大活躍で、一日でどれだけ楽しめるか前日から考えてくれて毎回たつぷりと楽しめるスケジュールをプレゼントしてくれるので、何回行っても大満足できるんです。これから先、家族みんなで旅行も楽しみたいけど、たまには2人で映画や買い物も楽しみたいです。明るく楽しいパパ、体には十分気を付けて私達の為にお仕事頑張ってくださいね。

パパお仕事頑張って、僕たちにサッカー教えてね。毎日ありがとう。 長男より

パパ、体に気をつけてね。サッカー頑張るよ。次男より

言いたい放題

一月の日曜日、山梨県富士河口湖町にある「河口浅間神社」とその奥にある「母の白滝」へ行ってきました。

富士山とその周辺を含めて世界文化遺産登録を目指すとかで新聞に富士山の記事が連載されており、その神社と滝も紹介されていましたので、妻と行ってみようかと、あいなりました。

今は便利なもので、インターネットで地図や情報が簡単に手に入りますので、カーナビに目的地をセットすれば、地理の苦手な私達でも、何とかたどりつく事ができます。昼前に出て、お昼は山梨といえは定番の「ほうとう鍋」をいただき、河口湖畔から、ちよっとはずれた河口浅間神社へ到着です。

その日は、どんと焼きでもあったのか、村の人達が近くの空き地で焚き火のあとの番

をしながら暖をとっていました。

境内に入ると、それはそれは立派な杉が並んでおり、これが樹齢一二〇〇年の天然記念物の七本杉かと思いきや、それはその先の拝殿の横から奥に有り、しめ縄が巻かれ、名前が付けられており、樹高45メートルを越え、樹勢ますます盛んという感じでした。一二〇〇年前といえは平安時代の初めの頃ですかね。たいしたものです。

さて、ここからが私共夫婦の目的です。ダイエットをかねて、母の白滝までの約三分のウォーキングです。

途中で、近所の二人連れの御婦人（おばあちゃん）と一緒にになり、眼下に見える河口湖とその上にそびえる富士山を眺めながら、一部砂利道の山道を登って行きました。

すると道路脇の林の中の檻

に、捕獲された野猿を見つけました。背丈が50センチ位でまだ子供でしょうか。農作物を食い荒らすので、つかまえる町で一匹二万円を買ってくれるそうですが、そのあとはどうするのでしょうか。

二人連れとは、途中の休憩所（売店）でお別れし、そこから二百メートル位先の滝迄今度は、ゆるやかな下り坂です。木立の隙間から白いものが見えてきました。滝です。

そのほとんど、八割がたが凍って、天女の羽衣が舞っているような幻想的な景観です。滝の高さはそれ程でもないのですが、富士登山の前に視を行つた所とかで、エネルギーを与えてくれるパワースポットです。

売店のご主人の話では、二月になると滝はまっ青になるそうです。

さて、本日のウォーキングは9539歩でした。



賢い愚痴

辛い時、ついつい愚痴を言いたくなります。身近な人に言えば確かにスッキリしますが、いつも愚痴ばかりでは気が引けるし、後々その愚痴が大きな噂になり後悔。なんて事にもなります。しかし愚痴II言いたい事は命に直結する大切な表現手段だそうです。原始時代、助けると言えない人間は命を守る事が出来なかったそうです。

そこで賢く愚痴を言う方法が大切です。まず言う相手を選ふ事、心に余裕がない時（人は、愚痴を聞く事がストレスとなり負担となるので、受け流せる心の余裕がある人を選びます。そして愚痴は自分を元気にする為、ストレス解消と割り切る事。オーバーでもいい、ツツコミどころ満載な笑い話に変化させれば愚痴も姿を変えるかもしれません。大切なのは「言葉」にして力ウンセリング効果を得る事。言葉にする事で客観視でき、解決の為の違う発想が見つかるかもしれません。ただしあくまでも回数は控えめに。（笑）

協会の動き

一般社団法人へ移行

当協会は公益法人改革に伴ない平成25年4月1日付けで一般社団法人沼津建設業協会へ移行しました。

第2回通常総会を開催



協会は3月13日、会館大会議室で平成24年度第2回通常総会を開いた。白井会長は「世間ではまだ公共整備に対して批判的な目が多いが、世界から見ればインフラ整備はまだ

まだ必要だ。日本には完全な

環状道路は無いが、北京では6周目の環状道路が出来ているらしい。企業が進出の際に重視するのはその地域のインフラ整備状況であり、インフラなくして企業経営は成り立たない。今の国の補正予算だけでなく、その後の通常予算でも恒常的な公共事業を望む」とあいさつした。

議事では、平成24年度補正予算案、平成25年度事業計画案、予算案などが上程されすべて満場一致で可決された。

献血への協力



広報青年委員会（林則夫委員長）は3月6日、沼津市役所玄関前で毎年恒例の3月の

献血運動を行なった。

協会員25人のほか市役所職員や一般市民らが立ち寄り、400ml 200ml、成分献血を行い、不足している血液需要に貢献した。

適正取引に関する講習会



一般社団法人静岡県建設業協会（伊藤孝会長）は1月25日沼津協会会館大会議室で建設業の適正取引に関する講習会を開いた。沼津、三島、富士の建設業協会の会員60名が参加した。

静岡県建設産業団体連合会と建設業適正取引推進機構との共催で行われたもの。冒頭、鈴木啓文沼津建設業協会経営

厚生委員長は挨拶で、「われわれ地方の中小・中堅建設業者を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況だ。建設業者が県民から信頼を得るためには法令遵守、コンプライアンスが不可欠であることは言うまでもない」と断言し、「法令遵守違反があれば災害時の応急復旧や平時の社会貢献活動の評価は下落する」と警告した。

講習会では推進機構の庄司芳次相談指導部長が「建設業のコンプライアンス」、飯島正調査研究部長が「建設業の現状と課題」について講演した。

防災防沼津分会

平成25年度講習会開催日程

建設業労働災害防止協会静岡県支部沼津分会（白井良太分会長）は平成25年度作業主任者等の講習会を次のとおり実施します。

会場 沼津建設業協会館
申込 協会窓口
電話 055(932)8311

伝言板

当協会顧問相談役 久保義秋様が平成25年1月17日御逝去されました。慎んでお知らせいたします。

当協会会員 株式会社小野組 代表取締役小野安由様が平成25年2月24日御逝去されました。慎んでお知らせいたします。

講習名	料 金	開催予定日	申込書記布	受付開始	受付メ切り	定員
足場組みたて等作業主任者	11,700 ※10,700円	5月14日(火) ～15日(水)	4月3日	4月5日	5月7日 又は定員メ	70
型枠支保工作業主任者	12,000 ※11,000円	6月26日(水) ～27日(木)	5月15日	5月17日	6月19日 又は定員メ	70
地山掘削・土止支保工	17,400 ※16,400円	7月9日(火) ～11日(木)	6月7日	6月11日	7月2日 又は定員メ	70
職長・安全衛生責任者	15,600円	8月7日(水) ～8日(木)	6月28日	7月1日	7月31日 又は定員メ	40
木造建築物組み立て等	11,600 ※10,600円	9月5日(木) ～6日(金)	7月28日	7月29日	8月29日 又は定員メ	60
現場管理者統括管理	10,500円	10月8日(火)	8月30日	9月2日	10月1日 又は定員メ	50

強化パトロールの実施



建災防沼津分会（白井良太分会長）と安全委員会（吉田伸一郎委員長）は1月24日、沼津労働基準監督署、沼津土木事務所、東部農林事務所とともに強化パトロールを実施した。現場は清水町湯川地内の県道下土狩徳倉沼津港線道路改築、長泉町元長窪地内の大岡元長窪線陣場工区道路工、裾野市下和田地内の障害防止（施設補修）東富士地区下和田上流導水路管理道路10工事など5現場。監督署から長谷川渉安全専門官、沼津土木事務所は片澤秀幸専門員、東部農林事務所は平野為久検

査監が同行し、協会からは吉田安全委員長はじめパトロール委員が参加した。現場では書類の整備状況を現場代理人に確認したほか、KY活動の徹底状況や安全対策状況、看板設置などについて点検表に基づきチェック・指導し、無事故無災害を呼びかけた。

表彰者の紹介

受賞おめでとうございます。

平成24年度安全優良職長厚生労働大臣顕彰
辻 義邦氏 白幸産業(株)
平成24年度建設雇用改善優良事業所知事褒章
株式会社 林組



安全標語

◎ みんなで潰せ 危険の芽
根付かせ咲かせ 安全意識
(株)植松建設 杉本 和也
◎ 「あとで」より 今すぐ改善
安全職場
(株)オサコー建設 菅沼 尚一
◎ 小さな改善 大きな成果
みんなの工夫で 安全作業
(株)佐藤建設 木内 康博

主要行事予定

◎ 監理技術者TV講習
日時 4月17日(水)9時～
会場 沼津建設業協会
◎ 安全委員会
日時 4月19日(金)10時30分～
会場 沼津建設業協会
◎ 沼津地区木建協議会
日時 4月19日(金)13時30分～
会場 沼津建設業協会
◎ 足場組立等作業主任者講習会
日時 5月14日～15日8時30分～
定員 70名
会場 沼津建設業協会
◎ 総会（沼津建設業協会・組合・建災防沼津分会）
日時 5月24日(金)16時～
会場 リバーサイドホテル
◎ 会員親睦国内研修会
日時 6月1日(土)
場所 東京デイズニールゾート
◎ 会員研修会
日時 6月7日(金)～9日(日)
場所 仙台・会津
◎ 安全強化パトロール
日時 6月12日(水)9時～
場所 沼津協全管内
◎ 安全大会・祈願祭
日時 6月18日(火)10時30分～
会場 沼津市民文化センター
◎ 監理技術者TV講習
日時 6月19日(水)9時～
会場 沼津建設業協会
◎ 型枠支保工の組立等作業主任者
日時 6月26日～27日9時～
会場 沼津建設業協会
定員 70名
◎ 経営講習会
日時 6月28日(金)14時～
会場 沼津建設業協会

第25回 (社)沼津建設業協会 写真コンクール

広報青年委員会（林則夫委員長）は2月6日、協会会議室において、第6回委員会を開き、第25回写真コンクール応募作品の審査を実施したので結果を発表します。



優秀賞「巨樹」土屋 信子氏

・最優秀賞 一点（二面掲載）
「陽光をあびて」
田代 宏昭氏（読者）

・優秀賞 二点
「巨樹」
土屋 信子氏（読者）

「春の訪れ」
子上 金作氏（読者）

・佳作 四点
「西伊豆夕照」
渥美 富夫氏（読者）

「富士と遊ぶ」
長岡 和子氏（会員家族）
「雲上の機影（プロッケン現象）」
大山 春海氏（会員）

「荒原に咲く」
飯田 龍治氏（読者）



佳作「雲上の機影（ブロッケン現象）」
大山 春海氏



優秀賞「春の訪れ」 子上 金作氏



佳作「西伊豆夕照」 渥美 富夫氏



佳作「富士と遊ぶ」 長岡 和子氏



佳作「荒原に咲く」 飯田 龍治氏

事務局からのお願い
近年応募者に偏りが見受けられます。現時の撮影機器のハイレベル化は目ざましいものがあります。
あなたの携帯電話でのシャッターチャンスも十二分に生かしご応募ください。